



子育て通信

H30. 1月10日

常葉短大専攻科1年



あけましておめでとうございます。まだまだ寒い日が
続いています。いかがお過ごしでしょうか。
新たな一年が始まりましたが、一年はあっていう間に過ぎ、お子さんも
知らず知らずのうちに成長していきますよね。元々お子さんの
小さな発見や成長が見られることでしょ。お子さんの充実した毎日を
一緒に過ごしていけることも嬉しいことですよね。

私は、子どもの一瞬一瞬を大切にしてい。元々保育をしていく
ためにも、今年も一年、保育者としての道を進んでいけるよう
頑張りたいと思います。

どうぞ今年もよろしくお願ひ致します。



十二支の話

「お正月」という時期に含ませて、十二支が誕生したお話を紹介していきたいと思ひます。

昔々の大昔のある年の暮れのこと、神様が動物たちにお触れを出した。

「元日の朝、新年の挨拶に出かけて来い。早く来た者から十二番目の者までは
順にそれぞれ一年間、動物の大将にしてやる」



動物たちは元日に来るのを待っていた。ところが猫は神様のところへいつ行くのかわ
忘れてしまったので、ねずみにさくて、ねずみはわざと一日遅れの日を教えた。

元日にはるで、牛は「歩くのが遅いから一足早く出かけよう」と暗い中出発。牛小屋の
天井でこれをみていたねずみは、ほんて牛の背甲に飛び乗った。元々はここを知らぬ、
牛は、神様の御殿につぎ、誰も乗っていないことを確認した。しかし背甲に乗っていた
ねずみが飛び降り、走っている、一番になてしまった。元々牛は二番、元々から
虎、兎、龍、虫、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の順。猫は一日遅れだったため
番外であった。元々ねずみを恨んで、今でも猫はねずみを追い回すのだと。

お子さんが十二支について興味を持った時、楽しいお話として話してあげると、さきに興味を
持ててくれるので!! 絵本も出ている様なので、興味があれば読んでみて下さい。

成
年

正月遊び

お正月の遊びといえば、羽根つきや凧あげなどの伝統的な遊びを思い浮かべますが、現代の子ども達は実際に遊ぶ経験は少ないのかもしれない。

しかし、それではも、たいない！世代を超えて楽しむ、親から子へ、祖父母から孫へ、伝承していける遊びでもあります。そこで、今回は改めて正月遊びの魅力を知っていただくようにいくつかの正月遊びを紹介します。



〈凧揚げ〉

●遊び方●

凧を高く揚げるだけでなく、その高さや揚がっている時間を競うことも楽しさの一つです。また、相手の凧を落したり、糸を切ったりする“凧合戦”や“凧喧嘩”という遊び方もあります。小さい子には難しいと思いますが、ビニール袋に凧糸をつければ小さい子でも簡単に楽しむ事ができます。

●由来●

中国で占いや戦いの道具として使われていた凧揚げが日本に伝わったのは、平安時代の頃。貴族の遊びだったものが、江戸時代には、年初めに男の子の誕生祝いとして使用するようになり、庶民にも広まりました。そのことから当時は、男の子に代表的な遊びと言われていたそうです。また、凧揚げには、願いごとを凧に乗せて天まで届けるという意味も込められています。

〈羽根つき〉

●遊び方●

1人で何回羽をつけるか競う“つき羽”や、2人でつきあう“追い羽”という遊びがあります。負けたり顔に墨を塗り木でしまいます。うちわと風船を使えば小さい子でも簡単に羽つきとして楽しめると思います。

●由来●

女の子の初正月に羽子板を贈る風習があったことから、手まり同様女の子の代表的な遊びでした。羽に硬貨をつけたものを蹴蹴る遊びだった中国の羽根つきが、室町時代に日本へ伝わり、羽子板のことを“こきいた”羽つきは“胡鬼子(こきの)勝負”と呼ばれ親しまれていました。

羽には、子どもが病気がかからないための魔よけになると言い伝えられている“無患子(はくろじ)”という植物の実が使われていることから、1年の厄をはね、子どもの成長の無事を願うものとして親しまれてきたのです。顔に墨を塗るのは魔よけのおまじないの意味があります。

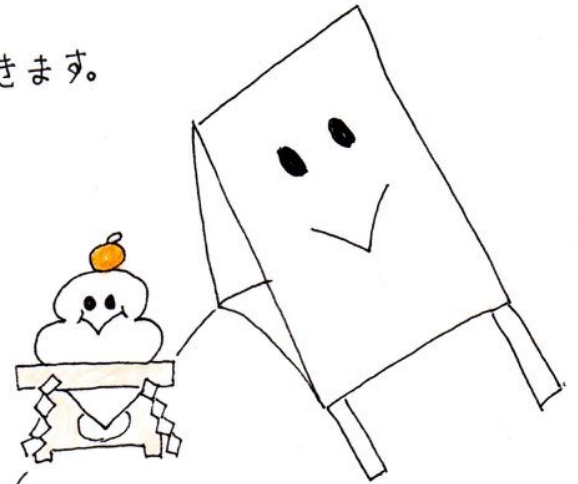
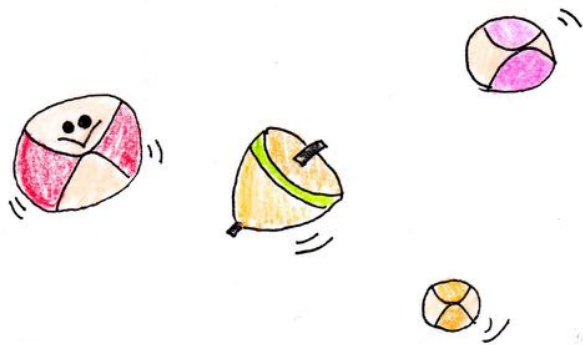
1月

お母さんの声



今回は、クリスマスにちなんで「夫に贈ってあげたいもの」「自分が贈ってもらいたいもの」を雑誌から切り抜き、コラージュをしてみました。雑誌を切り抜いてコラージュしていくのは、とても楽しかったようです！
ここで前回参加された方の感想を紹介させていただきます。

夫より自分の欲しい物が多くて...
皆の話を聞いて、ちゃんと旦那様の
事を考えてるんだなあーと...

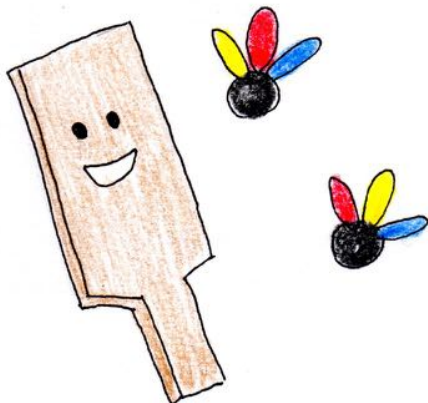


我が家は夫婦間でのクリスマスプレゼントの
交換はないのですが、今年は
何か考えてみようかなーと思いました。
皆でおしゃべりしながら楽しかったです。

ほしいものをながべてみて楽しくなりました。
子どもの手かはなれたら、ジムに行ったり、
好きな事としてみたいです。



いつもとちがって、切ったり貼ったりしながら
みんなと楽しくできてよかったです。
自分がほしいもの、主人がほしいものを
考えるよりも、子どものクリスマスプレゼント
ばかり考えていたので、良い時間でした。



欲しい物を貼っただけで
気分が満たされました！
夫の分も考えてあげれば良かったと
反省です。

楽しいワークショップでした。
夢があっていいですね♪

ほしい物、あげたい物、金額や個数に
制限がなかったのが夢がふくらむと思いました。
でも、よく考えてみたら物より思い出さないので、
海外旅行に行きたいなと思いました。

主人にプレゼントしたい物や自分のほしい
物をじっくり考える時間がなかなか
なかったため、改めて考えてみて楽しかったです。

ほしいものを考えてみるとたくさんあって
きりがいいなあ、と思いました。
あげたいものいろいろありましたか？
現実はずいぶんです。
みなさんのもきいてますますほしいものが
ふえてしまいました。

欲しいものを考えることがそんなになかったため
高い物でも、もうろうでも考えられたので
買えないけど、コラージュしながら楽しかったです。

学生より

欲しい物を実際にコラージュしてみると、気分が変わった。
改めて欲しいものをじっくりと考える時間が作れた
と言う声が多かったようです。やはり改めて何かを見直して
みる事は良い気分転換にもなり、家族の話題にも
繋がる感じました。